

日本呼吸器学会中国四国支部 「肺の日」記念 市民公開講座

「肺の健康を考えるーあなたの肺の健康診断ー」をテーマに市民公開講座を開催します。呼吸に大切な肺の健康を守るための講演とともに皆さんの「肺年齢」を測定いたします。多数のご参加をお待ちしております。

- 【開催日時】 平成22年7月17日(土) 13:30～16:00
- 【開催場所】 徳島東急イン 6階「阿波」
徳島県徳島市元町1-24
※会場は変更の可能性があります
- 【参加費】 無料(予約・整理券不要)
- 【対象者】 市民一般、医療関係者
- 【問い合わせ】 徳島コンベンションサービス Tel.088-626-1884

マタニティヨガクラスのご案内

平成21年11月より、当院で健診を受けている妊婦さんを対象に「マタニティヨガクラス」を開設しております。

マタニティヨガとは、ヨガの原理に基づき、妊婦の心と体の調和を図り安産へと導く安全で効果的な体操です。マタニティヨガ指導の資格を持つ当院助産師3名が担当していますので、より安心して参加いただけると思います。参加料は、4月1日より1回1050円となっております。詳細に関しましては、東病棟3階(Tel.088-633-9331)にお問い合わせ下さい。



【徳島大学病院フォーラム2010春～腰痛・がん～】のご報告

平成22年2月13日、当院は、NPO法人徳島医学研究・教育支援機構及び社団法人徳島新聞社との共催により、「腰痛とがん」をテーマに、市民公開講座【徳島大学病院フォーラム2010春】を『あわぎんホール』において開催し、約800名の県民が参加されました。

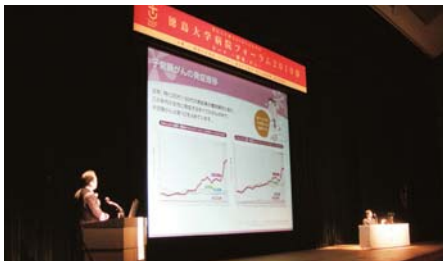
今回のフォーラムは前回のアンケートで特に要望の多かった「腰痛」、「がん」をテーマに2部構成で開催することとなりました。

香川征前病院長の挨拶に始まり、前半は「腰痛総論」「腰痛の手術」と題して、加藤整形外科副科長が講演を行いました。続いてリハビリテーション部の高田副部長、中尾理学療法士の骨粗鬆症を原因とする腰痛について、腰痛予防のための具体的な運動療法についての講演があり、参加者は熱心にメモを取っていました。

後半はがん診療連携センター・宇都宮センター長司会のもと、「切らずに治すがん治療」と題した同センター・生島副センター長の講演があり、続いて同センター・古本副センター長、同センター緩和ケア部門・藤山部門長、食道・乳腺甲状腺外科長尾助氏が、昨年から国内のワクチン接種が始まった子宮頸がんの予防のほか、女性がかかるがんを代表する乳がんの最新医療、また、緩和ケアについての講演を行いました。

本フォーラムは県民の健康の増進と医療に対する意識の向上の一助にな

ることを目的として今回で4度目の開催。年々県民の関心が高まる中、今回も盛況のうちに終了することができました。



当院で子宮頸がん予防のための「HPVワクチン」接種開始

近年、HPV(ヒトパピローマウイルス)が子宮頸がんの原因であることが明らかとなり、子宮頸がんのほとんどにHPVが関与していることが明らかとなりました。このことから、HPVワクチンの開発が進められ、平成21年11月にHPVワクチン[サーバリックス]が認可されました。

HPVは現在、100以上の型が確認されていますが、子宮頸がんを誘起するハイリスク型の中では

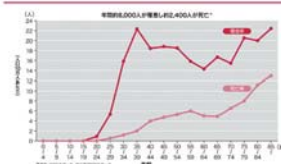
16型、18型が多数を占めています。サーバリックスの接種によりこの16型、18型に対する免疫が獲得されます。これにより、日本での子宮頸がんの7割は予防可能となると推定されています。

子宮頸がんは初発症状に乏しく、日本では年間約8,000人が子宮頸がんを発症し、年間約2,400人の方が命を落とされています。また、20代、30代といった若年女性での発症が増加してきていること

も大きなポイントです。

徳島大学病院でもHPVワクチンの接種が平成22年3月から開始します。投与年齢は16歳以上で、免疫を獲得するのに3回の接種が有効です。関心のある方は産科婦人科(088-633-9331)までお問い合わせください。

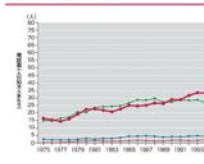
子宮頸がんの罹患率と死亡率(日本人女性)



日本における20～29歳の女性10万人当たりの各種がんの発症率推移



日本における30～39歳の女性10万人当たりの各種がんの発症率推移



臨床試験管理センターからのお知らせ 治験に参加しませんか? お問い合わせ先／臨床試験管理センター Tel. 08

【現在、治験への参加をお願いしている病気は次の通りです】

- 筋萎縮性側索硬化症
- 再発・進行乳癌
- 肺動脈性肺高血圧
- 進行再発結腸・直腸癌
- うつ病
- 関節リウマチ
- 慢性心不全
- 多発性骨髄腫
- 肝細胞癌
- 潰瘍性大腸炎
- MERAS

また、メタボリックシンドロームの方を対象に、食品に関する臨床試験も行っております。薬による治療が優先されると考えられる基準に当てはまらない場合など、ご参加頂けない場合もありますが、どうぞお気軽にお問い合わせください。